

別記

第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事	2021年7月12日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 日本製紙クレシア株式会社 代表取締役社長 福島 一守 電話 03 - 6665 - 5300
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001:2015
適 用 範 囲	日本製紙クレシア株式会社 京都工場
導 入 年 月 日	2003年 12月 19日
認 証 番 号	E1221
基 本 方 針	①地球温暖化対策 ②森林資源の保護育成 ③資源の循環利用 ④環境法令の順守及び環境負荷の低減 ⑤FSC認証製品をはじめとした環境に配慮した商品の提供 ⑥積極的な環境コミュニケーション ⑦虫クレームの撲滅 ⑧商品別エネルギー原単位対前年1%削減の達成
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	環境事故ゼロ ・緊急事態0件、環境ヒヤリ0件、環境苦情0件、環境法令の順守 省エネルギーの推進 ・受電契約電力以下での運用12,700kw以下 産業廃棄物発生量の削減 ・最終処分量を製品当たり0.01%以下の継続 ・有価率向上の推進(廃棄物処理費用必達)廃棄物処理費用年間2,700万円以下 積極的な環境コミュニケーション ・工場見学受入れの推進 年間600名以上 ・ライトダウンキャンペーンへの参加(夏至6/21、七夕7/7) ・虫クレームゼロ 環境に配慮した製品の開発 ・FSC認証製品の提供
目標を達成するための取組の内容	環境事故ゼロ ・日本製紙グループ環境事故水平展開、環境計器定期校正、環境提案2回/年 省エネルギーの推進 ・省エネ委員会活動、歩留改善、最大電力デマンドコントロール 産業廃棄物の削減 ・廃棄物委員会活動、分別の継続、分別の再教育 積極的な環境コミュニケーション ・工場見学受入れの推進
目標を達成するための取組の進捗状況	環境事故ゼロ ・環境事故0件、環境ヒヤリ5件、環境苦情0件、環境提案1,448件 省エネルギーの推進 ・各設備の運転方法見直しチョコ停止削減、操業安定による歩留向上、 節水対策工事、蛍光灯照明のLED化場内98%実施 産業廃棄物の削減 ・分別の徹底による埋立ゴミ排出ゼロ及び処理費用削減 埋立量50kg 費用2,285万円 積極的な環境コミュニケーション ・工場見学者の受入れはコロナ禍を受け中止とした(0名) ・ライトダウンキャンペーンへの参加(夏至6/21、七夕7/7)
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	環境事故ゼロがヒヤリ5件で目標未達である、環境法令順守の下、環境パトロールの継続、環境設備の点検、管理を継続して取り組む。その他はほぼ計画通りに取り組むことができている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について1ヶ月に1回環境情報誌及び本社からの環境週報等で確認を行っている。これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価及び見直しについては、原則として1年に1回社内内部監査、認証機関による外部監査、経営者による見直しを実施している。令和2年度は現行の目標及び取り組み内容により一定の成果が見られた。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。